

ものづくりのこころ

陶芸指導 葛原正巳さん

聞き手●千田倫子



■自分の奥底を出す

まず一番最初は、抽象的でいいから何でも自分の思いつくまま、湧いて出てくるものを形にしてみよう。潜在意識と言ったらいいか、人間生まれてから現在まで、ものすごい体験しとる訳で、普通はほとんど表に現れない状態で眠っておる。それをもっと役立たせられるように引き出す。そういう作業だと思つたらいいかな。言い方かえりゃあ、その人の本当の個性を出してもらう。本当の個性とは、その人の本当の可能性でもある。ほとんどの人は、そういう可能性を發揮できないままに一生を終わつとる訳だ。それが何とかなると面白いなあ、そんな感じだな。出来上がった物を見て、自分の中にこんなもんがあるとは考えてもみなかったと、ほとんどの者がそう言うな。

最初は表面の意識が働くけども、だんだん夢中になってきて自然に奥底のものが出てくるしな。研修生の場合は熱意というか集中力があつて、その人の個性がよりはつきり出てくる。その人の存在の証ともいうもの。表面の意識から出るものは人真似でしかない。どんなに素晴らしいものを真似しても真似でしかないし、それでは、その人が作つてもその人のものとも言えん訳だ。今の焼物というのはほとんど全部と言つてもいいほどそんなものだよ。音楽でもそうだと思うが、そういうものは半年もすると忘れられてしまうし。それでは何の為に作つてるか分からん。そうでない、その人でなければ生み出せんもの。

こういう潜在意識を形にする場合は、落ちこぼれがほとんど出てこんちゅうことだな。学校でも今まで何百人という生徒に絵を描かせたけども、今まで一人も描けんという生徒はおらんのだな。潜在

意識が無い子供はおらんということだ、今まで生きてきて以上の。

だから、まず潜在意識をできるだけ出して、その次の作業が、面白うしたり楽しうしたり、刺激的にしたりということになつてくる訳だ。まず、自分の中にあるものを出す。伝統工芸のような世界はそうまでしなくてもいいかもしれんが、自分の作品を作るちゅう場合はこの奥底を出す練習が必要だ。本当の奥底からの個性を出すことができりゃあ、必ず人を感動させられる。

■心づくり

それと並行して心づくり。一言で言うと、自分の為より人の為に働ける心づくりというかな。見せてやろう見せてやろうが出ると、その人の醜さが出る訳。その醜い部分を昇華していくというかな。こういう茶碗一つでも、見せてやろうが先になつと、自分では満足していても醜かったり、飲みにくいものになつたりする。相手のこと考えて、どうしたら飲み易いだろうということだと、まあまあええもんになると思うな。

作つた人を出さないようにするのがすごく難しい。この焼物ができていいなあという思いでいるというか、自然がこういふものを作つたという思いだな。とにかくそういう焼物が好きだなあということ。そういう心の働きで奥底から出るものに任せれば自然とそうなる。

まあ、音楽でも同じだろ。人の為になることをやるというのんは、そういう心境にならんうちは、すごく損な気持ちになる訳だ。人の為に働くのは馬鹿らしいと思えるけども、そういう境地になつてみれば、そのの方がよっぽどいいということが分

かる。鼓童はそういう気持ちになり易い条件がすごく揃うと思うな。研修生の若い人達には、自分の中の本当の個性を出すことと、その個性を人の為に使いたいと思えるようになる修練を積んで欲しい。それはその人の一番理想的な生き方でもあり、一番の幸福になると思う。

■心の進化で深まる芸

表面的なものでは自分の周りでしか通用せん。奥底から出てくるものなら国境を越えても通用すると思うし、もつと奥底から出れば、時代も越え、思想習慣をも越えられる。

本当に素晴らしいこととして思うのは、やれどもやれども極められんような、常に磨きをかけ続けていく芸というかな。その人の心の進化で、見る方の感動が深まるような芸もあるといいなあと思う。昔は心の成長と並行してやっていける芸が何時の時代にも何処にも、こういう田舎でもあつた訳だ。その芸はまあ五〇歳以上、心の基礎が出来てからということになるよ。若いものの完璧な技術や身体のある芸もあり、本当に素晴らしい境地になつて演じられる芸もある鼓童となつていて欲しいと思うな。

葛原正巳（くずはら まさみ）

佐渡・羽茂町大崎生まれ。もの作り（陶芸、土人形、民芸玩具、機織り）と、その指導を中心にあらゆることに心を遊ばせる方。土地の人の手になる民芸品を扱うお店「古食庵」を営み、古民具の蒐集・復元や、農業、山野草にも精通するなどその世界は豊かで幅広い。また、人を和ませる美しい大崎弁の使い手であり、佐渡に住みたいという若者や心の相談など、葛原さんの庵を訪ねる人は後を絶たない。鼓童もいろいろ教えていただきながら、お付き合いは三〇年近くになる。